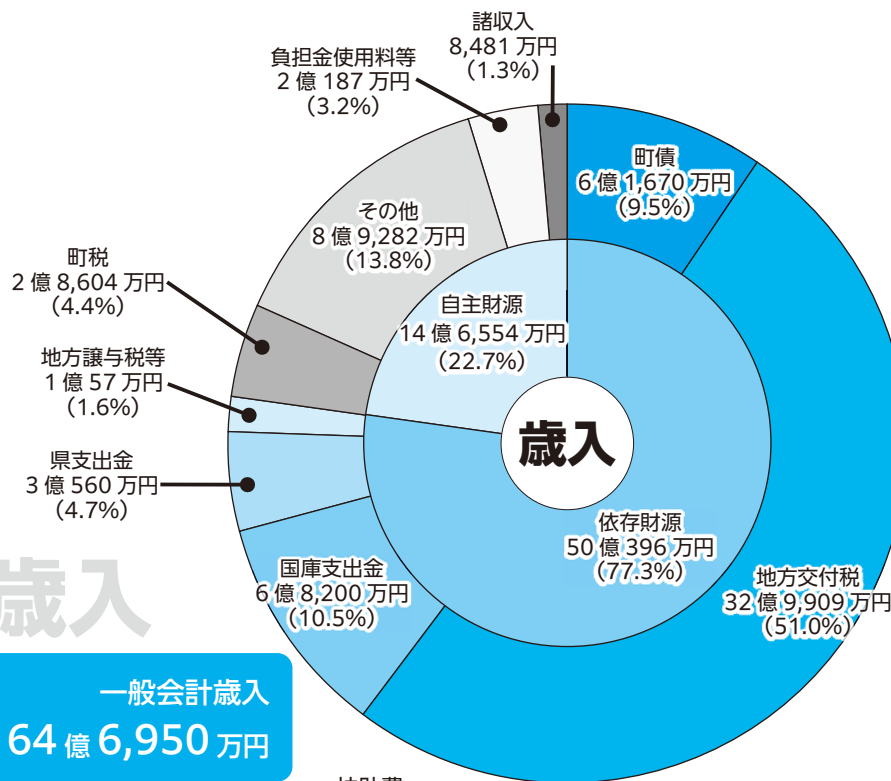
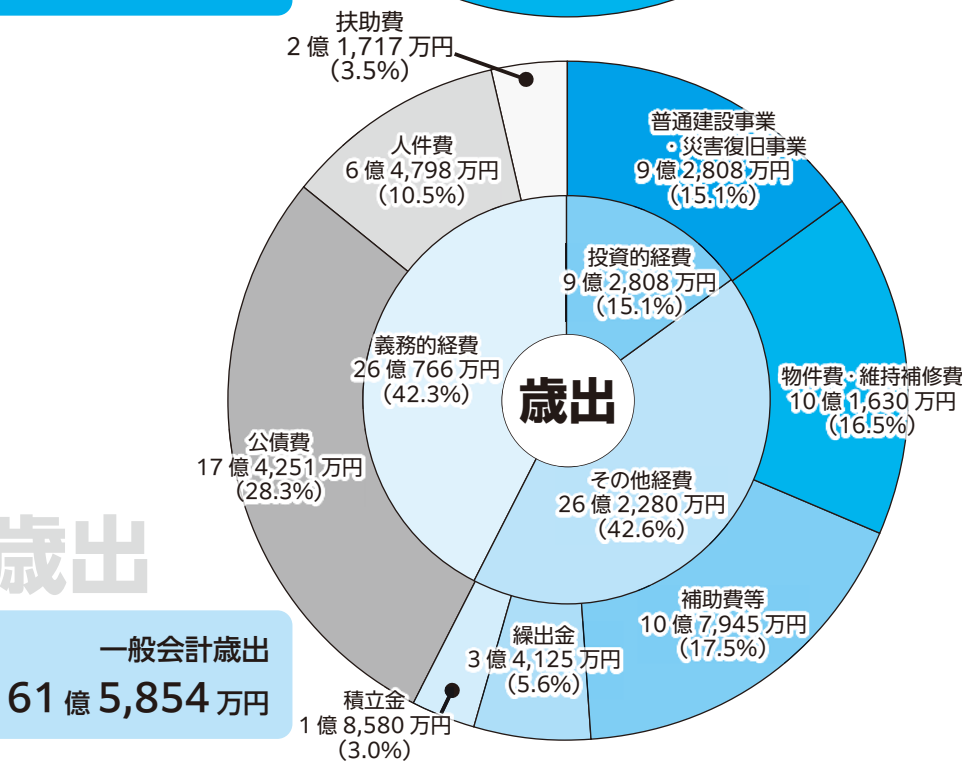


決算報告

歳入



歳出



一般会計の歳入歳出の総額は、歳入64億6,950万円、歳出61億5,854万円となり、形式収支は3億1,096万円、翌年度に繰り越すべき財源93,365万円を差し引いた実質収支も2億1,731万円の黒字決算となりました。

令和4年度に比べ、歳入は4億2,854万円増、歳出は4億6,244万円増と歳入歳出ともに増加しました。これまで行った学校やごみ処理施設といった大型公共事業で借入をした町債償還のため公債費が高止まりしており、それに伴い実質公債費比率が上昇してきています。令和5年度は実質公債費比率を抑制するため繰上償還を多く行い、その財源として減債基金の取り崩しを行いました。

用語解説

- ◆ **自主財源**
町が自主的に収入できる財源。町税や使用料等。
- ◆ **依存財源**
国や県から交付されるお金や借入金。
- ◆ **地方交付税**
地方公共団体の財政状況に応じて国から交付されるお金。
- ◆ **町債**
町の借金。
- ◆ **公債費**
町債の元利償還金等。
- ◆ **義務的経費**
支出が義務付けられ任意に削減できない経費。
- ◆ **投資的経費**
道路、橋りょう、公営住宅等の社会資本の整備等に要する経費。
- ◆ **扶助費**
法令に基づき支出する各種扶助費用。児童手当、生活扶助等。
- ◆ **繰出金**
他の会計に支出するお金。

特別会計

会 計 名	歳 入	うち一般会計からの繰入金	歳 出	差 引
国民健康保険事業	4 億 3,723 万円	2,873 万円	4 億 3,048 万円	675 万円
後期高齢者医療保険事業	1 億 596 万円	5,862 万円	1 億 592 万円	4 万円
浦郷診療所	4,805 万円	939 万円	4,775 万円	30 万円
へき地三度出張診療所	1,212 万円	636 万円	1,191 万円	21 万円
簡易水道事業	1 億 9,979 万円	5,483 万円	1 億 9,290 万円	689 万円
下水道事業	2 億 231 万円	1 億 1,137 万円	1 億 6,489 万円	3,742 万円
合 計	10 億 546 万円	2 億 6,930 万円	9 億 5,385 万円	5,161 万円

※簡易水道事業、下水道事業は令和6年度より公営企業法適用となるため5月末までの出納整理期間を設けず、3月末での打ち切り決算としています。

財政健全化指標

指 標	令和4年度	令和5年度	早期健全化基準	財政再生基準	経営健全化基準
実質赤字比率	黒字のため生じない	黒字のため生じない	15.0%	20.0%	-
連結実質赤字比率	黒字のため生じない	黒字のため生じない	20.0%	30.0%	-
実質公債費比率	11.9%	12.4%	25.0%	35.0%	-
将来負担比率	70.3%	59.0%	350.0%	-	-
資金不足比率	黒字のため生じない	黒字のため生じない	-	-	20.0%

町債（公債費）残高

会 計 名	令和4年度	令和5年度
一般会計	106 億 8,170 万円	95 億 7,720 万円
浦郷診療所	1,058 万円	1,019 万円
簡易水道事業	7 億 8,322 万円	7 億 8,787 万円
下水道事業	11 億 2,403 万円	10 億 8,109 万円
合 計	125 億 9,953 万円	114 億 5,635 万円

基金残高

基 金 名	令和4年度	令和5年度
財政調整基金	10 億 3,087 万円	10 億 5,763 万円
減債基金	10 億 805 万円	6 億 9,092 万円
国保関連基金	3,433 万円	4,227 万円
その他基金	1 億 4,774 万円	1 億 364 万円
合 計	22 億 2,099 万円	18 億 9,446 万円

今後の見通し

西ノ島町の財政は、人件費などの義務的経費が抑えられていることや、国から交付される地方交付税が堅調に推移していることから、健全な財政状況が続いています。

大型公共事業の元金償還による公債費のピークが続き、実質公債費比率が上昇する見込みであるため計画的に繰上償還を行い、それに合わせ基金の取り崩しを行う予定としています。また、人手不足や物価高などを理由に物件費が徐々に上昇しており財政状況は決して楽観視できませんが、引き続き健全な財政運営に取り組むとともに、総合戦略に掲げられた産業創出・人口減少対策などの重要施策の実現に取り組んでまいります。